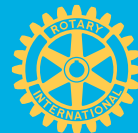




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を助け
奉仕の和を助けよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

プログラム

- 本日
来賓卓話「凄いぞ米の力！ 米で健康を保とう」
命をつなぐ米作りネットワーク
代表 松田 清隆氏（深川市 松田農園）
- 次週予定
－休 会－

配偶者誕生日
燕 昌 克
松 村 香 里

No. 2737

第36回 4月5日

出席報告

前
例
会

会員総数	34名
出免会員	5名
出免出席	2名
基準会員出席	14名
出席率	51.62%

前
々
会

第33回 3月8日

欠席会員	15名
内メイクアップ	7名
修正出席率	75.76%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 先日、羽幌ロータリークラブの石川第1グループガバナー補佐様より、公式訪問の連絡をいただきました。日時は平成29年4月5日の例会です。当初は、3月29日か4月12日に訪問したいとの連絡でしたが、どちらも留萌クラブが休会の日でしたので、4月5日にIM実行委員長と訪問したいとの事でした。

た。

📁 幹事報告

- 赤平ロータリークラブより4月の例会案内を受領しました。
- 地区ガバナー事務所から国際ロータリーより、国際大会における投票の用紙が届きましたので、会長幹事連名で署名をして送り返しまし

👤 委員会報告

社会奉仕委員会 鈴木委員長
 毎年恒例、春の交通安全旗の波運動が4月6日(木)午後4時30分より開催されます。ロータリークラブの場所は、いつもの通り四十坊さん前です。多くの会員さんの参加をお願いします。春と言っても4月初めですので、温かい格好で参加下さい。よろしくをお願いします。

📺 ニコニコBOX

- 森会長エレクト、ベッツ出席ご苦労様でした。 渡邊会長
- ベッツ報告をさせていただきます。

森会長エレクト

- 少し良い事がありました。 大嶋副会長
- 送別会出席出来ず、すみません。

中出親睦委員長

前 回	605,750円
今 回	4,000円
累 計	609,750円

プログラム……………

「PETS出席報告」

次年度会長 森 幹雄 会員

2017-2018年度会長エレクト研修セミナーに参加してまいりました。研修プログラムのお話の前に、ガバナー公式訪問と地区大会の日程をお知らせ致します。

公式訪問は8月9日(水)、地区大会は10月14日(土)。会長・幹事会、地区指導者育成セミナー、記念公演は元RI理事・裏千家大宗匠 千 玄室氏。

武部ガバナーの挨拶の中で、国際ロータリー第3700地区との姉妹締結契約を断念するに至った経緯の説明(ガバナー月信3月号)と、地区グループの再編については白紙にすると報告がありました。(ガバナー月信4月号)それぞれ月信にて詳しく掲載されます。

武部ガバナーのコラムが「財界さっぽろ」に掲載されておりますが任期を区切りにして、次年度は69クラブ全てを誌面に紹介する企画が立案されております事をお知らせいたします。

2017-2018 RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」と国立金助ガバナーエレクトから発表されました。

2017~2018年度 地区・数値目標

2017~2018年度 地区・推進目標

上記の目標と説明は、別紙4枚をFAXで送ります。

公演は、「クラブ運営の留意点」講師は次期研修リーダー(PG)塚原房樹氏と、「クラブを活性化するためのアイデア」としてRI第1ゾー

ンロータリーコーディネーター(PG)酒井正人氏のお二人でしたが、後日お話しのお場でお伝えしたいと思っております。米山セミナー、財団セミナーについては、それぞれの月間でお話があると思われまますので、ここでのPETS報告はエレクト研修でのグループ別討議の発表を掲載いたしました。テーマは3件で始まりましたが、議論は多岐にわたり地区や地区委員に関する質疑も多くありました。各クラブの代表として出席されたエレクトの意見をお伝えするのにも一考かと思ってお話しをさせていただきます。

分科会としての「グループ別討議」は11名~12名の6グループに分かれ開催されました。私のテーブルは塚原PGの司会進行で始まりました。

テーマは、

- ①「RI規定変更による認められた柔軟性をクラブの活性化にどう生かすか」
- ②「120万本の植樹」(環境保護)
- ③「クラブ活性化の為に地区委員会に何を望むか」

①「RI規定変更による認められた柔軟性をクラブの活性化にどう生かすか」のテーマで有りますが、会員増強、会費、例会数の問題など様々な意見が在りました。

「例会の柔軟性とは、開催日の週に公定休日如果在れば、その週の例会を休会にできる。」であります。

増強の為に4回の例会を2回に減らし、合わせて会費を下げることで会員を勧誘しやすいと考え例会数を削減したクラブ。

在籍年数の長い会員からは、4回の例会数を減らす事への抵抗があります。先輩会員は週1の例会を楽しみにしているし生活のリズムがそうになっているから、今から変えられない等々で長老派の希望に合わせる事で例会数の削減を断念したクラブ。

回数については、既に減らしている所、アンケートを取っている所、従来通りで変更していない所に、それぞれ案分されるようでした。

女性会員の入会に関しては、入会したいと申し込みがありましたが、クラブの体制が整っていませんでしたので議論している内に他の団体へ行ってしまった苦い経験。

女性が入会するのであれば辞めると言う会員がおられ、代わりに奥さんを勧誘したところ奥さんが入会され、その奥さん会員が女性会員の勧誘に活躍し女性会員が増え全体の会員数も増えましたと、残念ながら、ほのぼのとした体験。

会費は正会員と準会員に分けて、入会3年間は準会員として会費は、正会員の半額+人頭分担当とするが扱いは正会員と同じで、3年経過してから本人の意思確認の上、クラブの正会員とするクラブもありました。

法人会員や準会員制度を設けて、人頭分担当と地区にかかる費用（5万～6万円）の支払いで会員とするが例会出席は出来ない。制度の検討時期に来ていると思われる。

新入会員が入ってこないの、退会者を絶対に出さない。退会者を出さないため例会の中身を変え、4回の例会のうち1回は夜間例会や早朝例会にしてみるなどと変化を持たせている。

② 「120万本の植樹」(環境保護)

R I 会長エレクトのテーマ講演の中で取り組みが提唱された、会員一人一本の植樹からの議題。

数年前から行政からは植樹の場所は有りませんと場所の提供を拒まれている。

植樹も大事だが木材を使う事が大事、過去に植えた木が50年～60年で成木になるとCO₂を吸収せずに、逆にCO₂を排出するので成木を伐採し利活用した上で植樹が望ましい。

植樹の議論ではあるが、過去に植樹した木が老木となり、行政から撤去を求められている。この度、植樹が地区補助金の対象になったが撤去費用も地区補助金の対象にしてもらいたい。

R I が地球規模での発言なら理解できる、世界では熱帯雨林の大量伐採、アフリカや中国の砂漠化が始まっている。それを何とかしようとする手だての一つが植樹であると思われる。日



本国内の地域を対象としたテーマとしては、そぐわない様な気がする。

③ 「クラブ活性化の為に地区委員会に何を望むか」

地区委員の選考はどの様に行われているか、分からない？

地区委員を出したい時は、申し込みや手続きはどの様にしたら良いのか、分からない？

地区委員が何をしているのか、何をしてくれるのか地区委員の仕事内容が分からない等とするクラブが多すぎる。

地区委員に出向しているのだからクラブのお手伝いが出来ないと言われれば委員として出向させる事は出来ない。

地区の情報がクラブに来ていない、地区協議会にならないと次年度の事が分からない、それから要望を出しても遅すぎる、なぜPETSで聞けないんだ。

地区委員はガバナー補佐と緊密に情報交換をしながら地区の様々な事業をクラブに情報提供頂きたい。

地区委員会で卓話リストを作ってもらいリストから選択できる様にしてもらいたい。

クラブ活性化のために地区はそれをサポートしていくということが基本でなかるうか。

対外広報は地区で全面的に行ってもらいたい。各クラブで行っているが、より大々的な広報を地区が先導して行うべきでないか。余りにもロータリークラブの名前を知らない人が増えて過ぎている事に危機感を持っている。

ガバナー補佐から地区組織の中に「クラブ管

第35回 3月22日(水) 天候/曇

理運営委員会」が出来ました。クラブからの要求や地区委員会の情報もそこに聞けば全てわかるように委員会を作りましたので利用してくださいと補足がありました。

前々回の例会で、地区から委員の候補者要請が来ています。とお知らせをしましたが、ここに背景があることを承知いただけたらと思います。そして、この度の討議で地区と地区委員そしてクラブとの一体感が見られないという事が、多くのエレクトの発言で知ることが出来ました。次年度に向けて多くの事が是正されていく事と期待します。

留萌ロータリークラブからは地区委員として櫛井会員と燕会員が出向しています。会場でお二人の所属する委員会の委員長と塚原PGにお礼のご挨拶をいたしますと、両者の評価は高く次年度も期待されている事が伺え、私はうれしく思いました。

財団に関しては、財団月間で詳しいお話があると思いますが、お願いのお話を少しさせていただきます。まず日本の寄付目標が決まりましたので、お知らせいたします。

年次基金

1人当たり 150ドル (日本円で、17,000円)
\$113円

ポリオプラス基金

1人当たり 30ドル (日本円で、3,400円)

2015-16年度の実績は、年次基金

1人当たり 136ドル

ポリオプラス基金

1人当たり 20.9ドル

今年、ロータリー財団は100年を経過します。大口寄付は、一万ドル以上でサファイアの付いたバッチがもらえます。バッチの商品価値はありませんが、ロータリークラブでの名誉とご自身の満足感が得られます。と次期地区ロータリー財団委員長 丸山 (PG) からのお知らせと、お願いを合わせてお伝え申し上げ報告を終

わります。